

【2026年度の大会申込や競技上での確認事項】

2026年度の大会参加についての注意事項や、競技する上での変更事項や確認事項を以下にまとめています。詳細は「**2026年度大会要項**」をご確認ください。（「令和8年度 26JVA-MRS 大会申込マニュアル」につきましては、4月下旬頃に当専門部ホームページにアップロードする予定です。掲載後にご確認下さい。）

<大会申込・大会運営に関すること>

- ① 各大会の申込は（公財）日本バレーボール協会登録管理システム（JVA-MRS）による方法を継続する予定です。
 - ・申込方法の詳細については、今後アップロードされる「令和8年度 26JVA-MRS 大会申込マニュアル」をご確認ください。
 - ・JVA-MRSの新システム移行に伴い、春季大会については、別の申し込み方法で行います。（総体予選から使用予定）
- ② 各大会に出場する選手は、JVA-MRSに個人登録し、登録費が納入されている選手（登録済み）で、チームに所属された選手のみ出場可能となります。（JVA-MRSに登録されていない選手は大会出場が認められません）
 - ・チームの責任者は、大会前日までにJVA-MRSで個人登録及びメンバー登録を行い、「JVA-MRS チーム所属メンバー一覧」を印刷し、大会当日に試合会場で提出してください。
 - ※（重要）ただし「春季大会予選」については新入生の入部に配慮し、個人登録費が納付済みでなくても（登録手続き中の状態）、「JVA-MRS チーム所属メンバー一覧」に名前のある選手であれば大会出場が可能です。
- ③ 大会に登録するメンバーは引き続き「JVA-MRSでチームに所属された選手全員」とします。
 - ・大会当日に提出した「JVA-MRS チーム所属メンバー一覧」の選手の中から、毎試合ごとにベンチ入り選手（最大14名）を決めることができます。
 - ・大会参加初日に提出した「JVA-MRS チーム所属メンバー一覧」は、その後も内容に変更がなければ、大会最終日まで再度提出する必要ありません。試合に勝ち上がり、次の試合日までに大会期間中に内容の変更（選手の追加等）があった場合は、試合当日の受付時に、新たな「JVA-MRS チーム所属メンバー一覧」を提出してください。
 - ・昨年度、出場資格違反が発覚し、失格となるケースがありました。
 - ※転校後6ヶ月未満の者は大会に参加できません。（留学生もこれに準ずる）
 - ※留学生は、総体予選申込日までに、東京都高体連へ必要な資料を添えて登録及び出場申請を完了してください。
 - ・なお、登録は2名まで、コート内は1名までとします。
- ④ 出場校確認日について
 - ・申込締切日の翌日以降に「出場校確認日」を設定し、当専門部ホームページにて申込完了を確認できるようにします。
 - ※例年、期日を過ぎてからの申し出が多くありますが、出場は認められません。改めて、申込期日の確認をお願いします。
- ⑤ チームスタッフについて
 - ・チームスタッフとしてエントリーできるのは1大会につき1チームのみです。複数の学校で指導員を兼任している場合でも、大会のエントリーは、申込時に登録した1チームのみとなります。
- ⑥ 合同チームについて
 - ・合同チームは引き続き高体連が主催するすべての大会に参加することを認めます。
 - 合同チームに関する詳細は、「2026年度大会要項」「令和8年度合同チームの取り扱いについて」をご確認ください。
- ⑦ 組合せ抽選について
 - ・組合せ抽選については引き続き、当専門部による「責任抽選」としますが、シードチームの抽選に限り見学を可能とします。
 - 見学はセキュリティ上や会場使用上の観点から、大会申込用紙に記載されているチームスタッフ（引率責任者・監督・コーチ・マネージャー）のいずれか1名のみとします。マネージャーは当該校の生徒でも可能です。
 - ・組合せ抽選の結果は当専門部のホームページへの掲載をもって「正式発表」とします。原則として、組合せ抽選会の翌日にアップロードします。
- ⑧ JVA チーム ID について
 - ・新システムの移行により、チーム ID が T+8 桁に変更となっています。申込時に間違えないようご注意ください。

< 競技・審判に関すること >

⑨ 全日本選手権大会予選について

- ・これまでの夏季大会・全日本選手権一次予選・代表決定戦を合わせて一連の大会とし、当部に加盟する全ての選手が「春の高校バレー」を目指す大会と位置付けます。
- ・詳細は、当専門部のホームページをご覧ください。

⑩ 競技者の服装について

- ・ゲームパンツとソックスについてもゲームシャツと同様、同一のカラー・長さ・デザインに統一してください。
(メーカーはその限りではありません)
- ・ソックスはくるぶしが見える短いものは怪我防止のため禁止です。必ずくるぶしが隠れる長さのソックスにしてください。
- ・ユニフォームのシャツの裾は、そのデザインに関わらず、試合中はシャツの裾をゲームパンツの中に入れてください。
- ・ユニフォームの番号が規定（前面 15 cm 以上・背面 20 cm 以上）よりも小さいものは使用しないようにしてください。
- ・ゲームシャツは半袖、長袖、ノースリーブが混在していてもよいこととなっていますが、2027 年 4 月以降は混在が認められなくなるので、新たにユニフォームを作成される場合は、形状を統一するようお願いいたします。
- ・ユニフォームには、競技者番号、キャプテンマーク、チームネーム、マニファクチャーロゴ以外の表示を付けないてください。
- ・金属が表面に出ていて、他の選手と接触したときに怪我の恐れがあるような装具を着用してのプレーは認められていません。
(特に膝前十字靭帯の手術後に用いる装具や骨折したときに固定するギプスがこれに該当します)
- ただし、以下の 2 点が確認できれば、装具を使用してのプレーを認めます。大会当日、会場主任に確認し許可を取ってください。
 - ① 装具の上から布等で覆い、金属部分が表面に出ていない状態であること。
 - ② 他の選手と接触しても怪我をさせない程度に保護されていること。
- ・アンダーウェアについて、JVA では規定を変更しましたが、全国高体連として改訂は行っていない為、これまで通りとします。
- ・詳細は、当専門部のホームページをご覧ください。

⑪ リバロプレーヤーのユニフォームについて

- ・リバロプレーヤーはゼッケンではなく、他の競技者と明らかに違う色のユニフォームを使用してください。(令和 3 年度より)
→ 近年、判別しにくい選手番号やデザイン、カラーが散見されるので、誰が見ても一目で判別できる明確な対比を徹底してください。
- ・2 名のリバロは他の選手と異なる色で、さらに 2 名のリバロ同士が異なる色のユニフォームを着用することができます。

⑫ 帯同審判について

- ・各チームは審判（主審・副審）のできる帯同審判員をかみならず帯同させてください。帯同させられない場合は、チームで責任をもって手配してください。
- ・試合中に質問ができるのはゲームキャプテンのみです。審判や会場校へ敬意をもって試合に臨むよう心がけてください。
- ・令和 8 年度からのルールの取り扱いについては、審判研究協議会ならびに当専門部のホームページをご覧ください。

⑬ 公式戦の時に各チームで持参するもの

- ・審判に必要なもの・・・ホイッスル（長管・短管・電子ホイッスル）、ストップウォッチ、筆記用具（青ボールペン）
※ラインフラッグや警告カードは会場校でも用意して下さい。
- ・練習で必要なもの・・・ボール、ボールかご など ・その他チームで必要なもの・・・救急バッグ、作戦盤 など

< その他 >

- ⑭ 大会前に棄権したチーム（組み合わせにチーム名が表記されている状態）も大会参加費が必要となります。
- ⑮ 会場が不足することがありますので、会場提供への御協力をお願いいたします。
→ 特に、2 部大会の会場が例年不足します。皆様のご協力をお願いいたします。
- ⑯ 記録用紙は競技委員会で保管します。会場校では廃棄せず、競技役員に渡してください。

【問い合わせ先】

競技委員長 丸山貴雄（都立城東高等学校）

TEL 03-3637-3561